



福井県民生活協同組合 〒910-8557 福井市開発5丁目1603番地

県民せいきょう
コールセンター

おかけ間違いがないように、番号をお確かめください。

 **0120-016-165**

【受付時間】月～金曜日/午前8時30分～午後8時 土曜日/午前9時～午後5時

福井県民生活協同組合 サステナビリティレポート 2025



この製品は、適切に管理されたFSC®認証林からの原材料および再生資源から作られています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

ホームページ



SNS一覧



SDGsの取り組み





理事長 檜原 弘樹

2024年度は、現金給与総額は増額するものの、コストプッシュ型のインフレにより実質賃金はマイナスとなり、私たちのくらしは厳しい状況が続きました。こうした中、県民せいきょうでは、「敦賀きらめきサービス付き高齢者向け住宅」の開設や「ハーツ恐竜」のオープン、また、「くらし応援全国キャンペーン」や「ハーツプライス」等家計応援企画を展開し、組合員のくらし応援に努めました。地域との関係では、地域防災力の向上を目的とした福井県防災士会との連携に関する協定、「生活物流」「県民の防災意識の向上」「子育て支援」「SDGs」の主要4テーマでの事業を目的とした(株)福井新聞社との包括連携協定、敦賀市との包括連携協定(6自治体目)、坂井市・(株)バロー・(株)PLANTと食品ロス削減の推進に向けた常設フードドライブポストの設置等に関する協定を締結するとともに、ふくい協同労働推進協議会の立ち上げや運営の支援を行い、組合員や地域の皆さまに寄り添いながら、持続可能な社会(SDGs)の実現と、安心して暮らせる地域社会づくりに寄与しました。組合員はじめ関係者の皆さまのご支援、ご協力に感謝申し上げます。

協同組合は様々な分野での持続可能な社会づくりが評価され、国連は協同組合のSDGsへの貢献についての認知の向上と協同組合の振興を促すために、2025年を国際協同組合年¹に定めました。県民生協でも、協同組合の役割や期待を学習し、役職員へ広めていく活動に取り組んでいくとともに、食と福祉と助け合いで安全安心の価値を高め、人口減少、少子高齢社会に対応した事業活動に取り組み、事業と活動と地域のネットワークをさらに推進し、持続可能な社会の実現をめざします。また、将来の生協を支える世代の組合員活動への参加や利用参加を推進します。さらに年間休日の拡大や教育制度の充実など、多様な働き方による人財確保と自律した職員育成に取り組む、誰もがイキイキと働き続けられる、キャリアアップをめざせる組織をつくり、ワークインライフをめざします。

2025年度も「組合員の幸せと地域社会のために」役職員一同事業や活動に邁進する所存です。

¹ 国際協同組合年とは：協同組合は持続可能な食料生産・消費、健康・福祉、社会的包摂、仕事起こしなどさまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献していることが評価され、国連は協同組合のSDGsへの貢献についての認知の向上と協同組合の振興を促すために、2025年を国際協同組合年に定めました。

理念・ビジョン

第10次中期計画（2021年～2025年）

理 念

組合員の幸せと地域社会のために

2025年度スローガン

人と社会に思いやりのある生協を根付かせよう

使 命

食の安全とくらしの安心で組合員と地域へのお役立ち

めざす理想的な姿

「食と福祉と助け合い」の事業と活動と地域のネットワークによるシナジー効果を発揮し、「安全・安心のふくい」づくりに、組合員と職員、地域との協同の力で高い志を持って挑戦し続ける

大切にしたい組合員価値

「安全・安心」「参加・参画」「お役立ち」「安定した経営」

組織概要

■事業概要

宅配事業（配送センター：5 坂井センター、福井センター、丹南センター、敦賀センター、若狭センター）
店舗事業（店舗：12 ハーツはるえ、ハーツ羽水、ハーツ学園、ハーツ志比口、ハーツ恐竜、ハーツさばえ、ハーツ神中、ハーツたけふ、ハーツつるが、ハーツ三方五湖、ハーツわかさ、ファミリーマート＋ハーツ河野北前船主通り(コンビニハーツ)）
くらしのサポート事業（移動店舗：20 第1地区本部9台、第2地区本部5台、第3地区本部6台）
高齢者介護事業（介護事業所：15 金津きらめき、坂井きらめき、大野きらめき、勝山きらめき、岡保きらめき、羽水きらめき、宝永きらめき、江守きらめき、鯖江きらめき、丹南きらめき、敦賀きらめき、結城きらめき、小浜きらめき、サテライトステーション(鮎川)きらめき、三方ヘルバーステーション）
子育て支援事業（子育て支援施設：10 ハーツきっずはるえ、ハーツきっず羽水、ハーツきっず学園、ハーツきっず志比口、ハーツきっずさばえ、ハーツきっずたけふ、ハーツきっず湊児童クラブ、ハーツきっず日之出児童クラブ、ハーツきっず啓蒙児童クラブ、ハーツきっず清水）

共済事業

■職員数

1,783名
(正規職員356名、定時職員769名、N職員105名、アルバイト職員553名)

■関係団体

日本生活協同組合連合会/日本コープ共済生活協同組合連合会/生活協同組合コープ北陸事業連合/福井県生活協同組合連合会
一般社団法人ほのぼのハーツ/社会福祉法人きらめき福祉会(きらめきの里 鯖江)/公益社団法人ふくい・くらしの研究所/福井虹の会
福井県産直協議会

■グループ会社

エルシーコープ株式会社/株式会社コープサービス福井
ふくいレインボーファーム株式会社/コンビニハーツ株式会社

県民せいきょう概要

事業報告

■2024年度実績

		実 績	前 年 比
組合員数		173,148人	102.1%
出資金		101億366万円	100.3%
総事業高		275億4,487万円	103.4%
事業高	宅配事業 ^{※1}	127億1,839万円	99.9%
	店舗事業	119億8,316万円	107.1%
	福祉事業	26億469万円	105.0%
	共済事業	2億3,862万円	100.4%
共済保有件数 ^{※2}		70,273件	100.9%
経常剰余金		2億6,292万円	76.5%

1万円未満は切り捨てています。
※1宅配事業の中には、葬祭事業の事業高も含めています。
※2共済の保有件数は、たすけあい・あいぶらす・ずっとあい・学生総合共済の合計です。

■2025年度計画

		計 画	前 年 比
組合員数		176,000人	101.6%
出資金		102億1,400万円	101.1%
総事業高		292億3,500万円	106.1%
事業高	宅配事業 ^{※1}	130億1,600万円	102.3%
	店舗事業	128億8,400万円	107.5%
	福祉事業	30億1,800万円	115.9%
	共済事業	2億4,200万円	101.4%
	再エネ発電事業	7,500万円	—
共済保有件数 ^{※2}		70,900件	100.9%
経常剰余金		2億円	76.1%

市町別組合員数と世帯加入率

県内世帯加入率が57.8%になりました。現在、福井市・坂井市・鯖江市・越前市・越前町・南越前町・敦賀市・小浜市・美浜町・若狭町・おおい町では、地域の過半数(2世帯に1世帯)の方が加入されています。

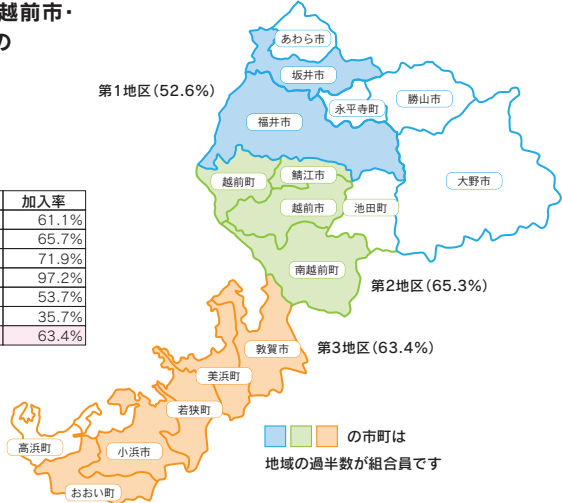
	組合員数	世帯数	加入率
福井県 全体	173,148人	299,571世帯	57.8%

	組合員数	世帯数	加入率
福井市	61,687人	107,967世帯	57.1%
あわら市	4,057人	10,183世帯	39.8%
坂井市	17,304人	32,559世帯	53.1%
大野市	3,834人	10,723世帯	35.8%
勝山市	2,664人	7,494世帯	35.5%
永平寺町	3,306人	7,488世帯	44.2%
第1地区計	92,852人	176,414世帯	52.6%

	組合員数	世帯数	加入率
鯖江市	19,441人	25,247世帯	77.0%
越前市	17,584人	30,976世帯	56.8%
越前町	4,359人	6,582世帯	66.2%
池田町	437人	901世帯	48.5%
南越前町	1,848人	3,180世帯	58.1%
第2地区計	43,669人	66,886世帯	65.3%

	組合員数	世帯数	加入率
敦賀市	17,135人	28,057世帯	61.1%
小浜市	7,989人	12,163世帯	65.7%
美浜町	2,626人	3,651世帯	71.9%
若狭町	4,622人	4,755世帯	97.2%
おおい町	1,715人	3,196世帯	53.7%
高浜町	1,587人	4,449世帯	35.7%
第3地区計	35,674人	56,271世帯	63.4%

※左記以外に県外在住の組合員が953人いらっしゃいます。
組合員数(人)：2025年 3月31日現在
世帯数(世帯)：2025年 4月1日現在



2025年度 役員

		氏 名		備 考				氏 名		備 考	
常 勤	代表理事	理事長	檜原 弘樹	全体統括		非 常 勤	理 事	田中 弓恵	坂井エリア		
	代表理事	専務理事	中川 敦士	内局統括、事業ネットワーク・宅配・共済管掌				伊藤 麗子	坂井エリア		
	上席常務理事		広辻 光生	管理・組織NW・JQA進捗管掌				森下 佳代子	奥越エリア		
動	常務理事		中川 政弘	くらしのサポート・ふくいレインボーファーム管掌				牧野 久美子	福井エリア		
			野村 伸一	店舗・商品開発・食の安全・産直推進管掌				神近 葉子	福井エリア		
	非 常 勤	理 事	山根 国弘	事業連帯分野				松本 真貴	福井エリア		
		南保 勝	金融・経済分野				海岸 元子	丹南エリア			
		小林 正能	リスク管理・防災・環境分野				内田 桃	丹南エリア			
		山本 道隆	報道分野				前田 和代	敦賀エリア			
		岩佐 裕美	法曹分野				佐竹 由稀	若狭エリア			
		小林 一	労働福祉分野		監 事	中山 哲弥	会計分野				
		青木 浩一	食品安全分野			志田 順子	坂井エリア				
		小林 秀夫	経営分野			林田 喜久恵	福井エリア				
		土屋 秀樹	医療・福祉分野			福田 愛子	丹南エリア				
		八原 政和	食育・地産地消分野			松井 直美	若狭エリア				

福井県民生活協同組合の歩み

1970年代は高度経済成長の歪みとして公害問題が深刻化し、有害食品添加物の氾濫、物価の高騰で消費者の健康やくらしが脅かされた時代でした。安全・安心で良質な商品を求める消費者運動などが盛んに行われた時代背景にも押され、福井県にも福井県民生協の前身である労済生協物資部が1971年に誕生しました。その後、労済生協の全国統合方針で購買事業の分離独立が必要となり、1977年9月16日に創立総会を開催。翌年1978年に福井県の認可を手にして誕生し、その第一歩を踏み出しました。家族に安全で健康的な食品を食べさせたいという願いを持ち寄った消費者が賛同して産声を上げた福井県民生協は班組織で行う、共同購入という独自のシステムで基礎を築きました。1990年代はじめバブルが崩壊し、給与所得が減少に転じ、共働き世帯が増え、1人でも利用可能な個配やステーションが開始しました。また、生鮮利用とあわせ有職組合員でも利用できる業態として店舗の展開に踏み切りました(1996年にハーツ羽水(1号店)が誕生、現在では県内11店舗+コンビニハーツ)。さらに収入が減る家計事情を背景に保障の見直し活動とあわせて1991年共済事業(CO・OP共済)が始まり、組合員相互の助け合いという理念のもと、組合員の声に耳を傾け、商品づくりに生かし、加入者の輪を広げながら充実した保障を実現してきました。

2000年代に入って福井県の人口が減少に転じ、少子高齢化に拍車がかかる中、これまで福井県民生協を支えた団塊世代の組合員が一斉に高齢期を迎えることを見据え、介護事業をスタート、2003年には初めての介護施設「羽水きらめきデイサービス」をハーツ羽水の駐車場に開設しました(現在では県内15施設)。また家族構成が変化するなかで、2005年には、子育て世代から気軽に集える親子広場や育児相談など子育てに対するニーズに応えるために「親子ひろば」「一時預かり」の場としてハーツきつづ羽水がオープンしました(現在では、ハーツきつづ6施設、児童クラブ3施設、放課後等デイサービス1施設)。また、新規の組合員拡大には限界があると考え、事業間の連携を強め、一人ひとりの組合員に生涯にわたって深くお役立ちする方向をめざしはじめました(「食と福祉の助け合い」の事業ネットワーク戦略)。

2010年代に入って本格的な高齢社会が到来し、これまで高齢者のくらしを支えてきた家族や地域での相互扶助機能の衰退が避けられなくなり、共助の組織としての生協に対する期待が高まるなか、お買物支援(移動店舗ハーツ便、お買物バス、ハーツのネットスーパーおつかいさん)、食事支援(食事宅配、介護医療食)など生活支援事業(くらしのサポート事業)に全国生協に先駆けて取り組みました。

その後もSDGsの達成や地球温暖化防止と持続可能な社会づくりの実現をめざし、フードバンク・フードドライブ活動、被災地支援、自家消費型太陽光発電の設置や水力発電の開発にも取り組んでいます。生涯を通じて生協に関わってもらえる組合員を増やし、生協の理念である「組合員の幸せと地域社会のために」の実現をめざしていきます。



1979年 第1回通常総代会



1996年 1号店ハーツ羽水オープン



1992年 牛乳パック回収スタート



2003年 羽水きらめき開所



2009年 移動店舗ハーツ便導入

2025年は国際協同組合年です

2025国際協同組合年(IYC2025)とは

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年(International Year of Cooperatives:IYC)に決めました。



福井県民生活協同組合はSDGs(持続可能な開発目標)の達成のための取り組みを推進していきます

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



福井県民生活協同組合は、SDGsの達成に貢献することを宣言します

福井県民生協では福井県のふくいSDGsパートナーで宣言を行い、連携協働の取り組みで持続可能な地域社会づくりに向けて事業や活動を展開しています。

〈県民せいきようの宣言内容〉

地域課題に向き合い、事業と活動を通して、将来にわたり誰もが安心してくらするふくいづくりに寄与します

- 次世代を担う子どもたちの未来を応援します
- エシカル消費を推進します
- 地球温暖化防止と循環型社会の実現をめざします
- 地域で一番働きたいと思える職場をめざします

(達成に向けて取り組む主なゴール)



2024年度のできごと

	県民せいきょうのできごと
4月	能登半島炊き出しボランティア 4月27日能登半島地震被災者に対して炊き出しを行いました。役職員18人が参加し、輪島市町野町と能登町小浦地区で約500食の食事を提供しました。 ハーツ全店でアルミ缶・スチール缶のリサイクル回収スタート 組合員からの要望を受け、ハーツ全店でアルミ缶とスチール缶の回収をスタートしました。  能登半島炊き出しボランティア
5月	春の地区総代会議 5月8～15日、県内6会場にて299人の総代のみなさんに参加いただき、地区本部活動のまとめと方針、また第46回通常総代会の議案を提案し、理解を深めていただきました。 ハーツたけふ15周年 リフレッシュオープン ハーツたけふは開店15周年を迎え、5月18日にリフレッシュオープンし、生鮮や冷凍食品、ミールキットなどを強化しました。 ハーツの新価格 ハーツプライス 食品価格の高騰が続く中、ハーツで利用の多い商品約500品目を「ハーツプライス」として、平均約10％値下げした価格設定に見直しました。  ハーツたけふ リフレッシュオープン  春の地区総代会議
6月	(株) 福井新聞社と包括連携協定締結 6月12日、(株) 福井新聞社と「県民の食とくらしを守る」をスローガンに包括連携協定を締結しました。 敦賀きらめき サービス付き高齢者向け住宅開所 6月18日に開所式を執り行い、7月1日より事業をスタートしました。 第46回通常総代会 6月20日に福井市のフェニックス・プラザで、通常総代会を開催しました。会場での参加159人、書面議決書提出324人の計483人の出席で、2024年度事業計画など3議案全てが賛成多数で可決承認されました。  (株) 福井新聞社と包括連携協定締結  敦賀きらめき サービス付き高齢者向け住宅開所
7月	6月フードドライブ・7月フードバンク活動 6月3～9日、ハーツ全店と大野・勝山きらめきでフードドライブを実施しました。7月にはフードバンク活動を行い、福井県フードバンク連絡会(事務局:県民生協)として、13事業者・団体より提供を受けた食品を県内の子ども食堂や福祉団体に寄贈しました。 透明食品トレーのリサイクル回収をスタート 組合員からの要望を受け、ハーツ全店で透明食品トレーの回収をスタートしました。 「ふくい協同労働推進協議会」発足 「ふくい協同労働推進協議会」が発足され、県民生協も共同代表として参加し、労働者協同組合(ろうきょう)の設立を支援していきます。  フードドライブの食料をお渡しする様子
8月	福井県防災士会との連携協定締結 8月23日、福井県民の防災力を高め、災害に強い社会の実現に寄与することを目的に、福井県防災士会と連携協定を締結しました。 らくがきっ子体操クラブ 親子体操教室を開催 佐藤弘道氏が代表を務める「らくがきっ子体操クラブ」の佐藤文哉氏を講師に迎え、8月24日(丹南・福井会場)、25日(嶺南会場)県内3会場で「親子体操教室」を開催しました。  らくがきっ子体操クラブ 親子体操教室  福井県防災士会との連携協定
9月	コープのくらし応援全国キャンペーン第3弾開催 9～11月、物価上昇によるくらしへの影響に対し、宅配120品目、店舗100品目を値下げする「くらし応援企画」に取り組みました。 ハーツ恐竜 オープン 9月12日、ハーツ恐竜がグランドオープンしました。地区委員会などの意見を伺いながら準備を進め、グランドオープンには3,900人にご来店いただきました。 CO・OP共済 40周年 CO・OP共済は誕生40周年を迎えました。商品改定(お誕生前申し込みや不妊治療中の条件付き加入)を受け、保障提案を推進しました。  ハーツ恐竜 グランドオープン  コープのくらし応援全国キャンペーン

	県民せいきょうのできごと
10月	第6回認知症フォーラム 10月12日、福井県と連携して「認知症フレンドリー社会in福井」を開催。認知症の正しい理解と偏見のない社会の実現に向けて、172人の参加者が一緒に考えました。 社会福祉事業功労者知事表彰 長年の共同募金活動への貢献が認められ、令和6年度社会福祉事業功労者知事表彰を受賞しました。  第6回認知症フォーラム
11月	秋の地区総代会議 11月6～16日、県内7会場(オンライン1会場含む)で秋の地区総代会議を開催しました。2024年度上期の振り返りと下期方針の提案や、コープ商品の学習会、意見交換を行いました。  秋の地区総代会議
12月	能登半島豪雨災害募金を寄付 9月21日に発生した豪雨災害に対して、10月にハーツおよび役職員で募金活動に取り組み、12月2日、福井県共同募金会を通じて寄付しました。 福井県フードバンク活動交流会 12月10日、福井県内でフードバンク活動に取り組む事業者・団体に設立された福井県フードバンク連絡会(事務局:県民生協)は、子ども食堂との顔の見える関係づくりをさらに促進するために、こども食堂ネットワークふくいと交流会を開催しました。 県内大学生への食料支援 福井県生協連合会とともに、物価高で困窮している県内5大学の学生500人にバックご飯やレトルトカレー、カップ麺など8点の食料品を贈呈しました。  能登半島豪雨災害募金を寄付  県内大学生への食料支援  福井県フードバンク活動交流会
1月	大土呂郵便局(福井市)にてハーツ便開始式 郵便局と連携した移動店舗ハーツ便の停留所づくりの取り組みとして、1月9日に福井市の大土呂郵便局でハーツ便開始式を行いました。 女性登用アワード受賞 女性の管理職登用に積極的に取り組む企業を顕彰する福井県の「女性登用アワード」を受賞しました。  大土呂郵便局 ハーツ便開始式
2月	福井県しあわせ基金より感謝状 役職員による地域への募金活動に5年連続で取り組んだことが評価され、「福井県しあわせ基金」より感謝状をいただきました。
3月	越前市にてコープの宅配ロッカー稼働 組合員への新たな宅配利用提案として、3月17日より「コープの宅配ロッカー」を稼働しました。 敦賀市と包括連携協定締結 3月19日、敦賀市と包括連携協定を締結しました。SDGsやエシカル消費の推進、脱酸素社会の実現、災害時の物資協力など11項目で連携していくことを約束しました。 坂井市とフードドライブに関する協定締結 3月25日、坂井市、県民生協、(株)PLANT、(株)パローの4者による「食品ロス削減の推進に向けた常設フードドライブポストの設置等に関する協定」を締結し、ポスト設置式を行いました。 社きらめき地鎮祭 3月27日、福井市社地区にて、福井市内5つ目の介護事業所となる社きらめきの地鎮祭を行いました。  敦賀市との包括連携協定締結  コープの宅配ロッカー  社きらめき地鎮祭  坂井市 フードドライブポスト設置式

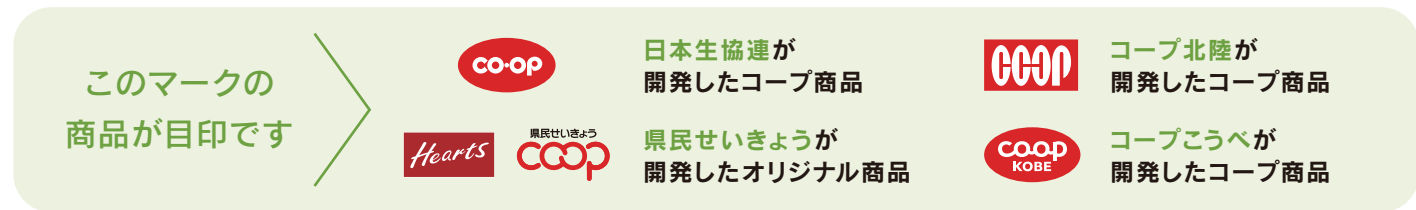
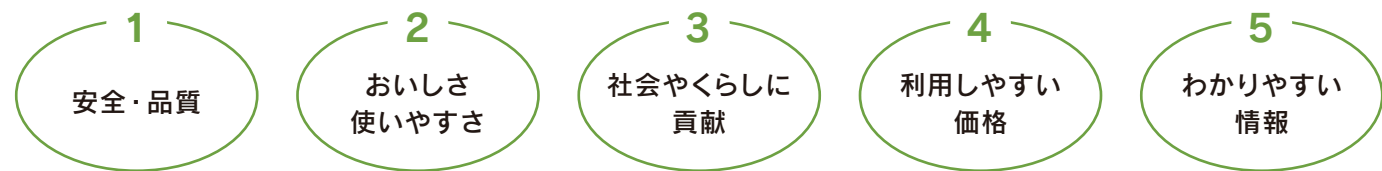
食の安全・安心の取り組み

商品取り扱いの考え方



■ 想いをかたちに コープ商品

信頼されるコープ商品であり続けるために、5つの約束を果たし、想いをかたちにしていきます。



■ 生協の食品添加物基準

コープの宅配・ハーツで取り扱う商品は、仕様書を確認し、県民せいきょうの食品添加物基準にあった商品のみを提供しています。

① 基本的考え方

「不必要な添加物や有害な添加物を使用しない」を基本に、使用する場合でも「安全性」「必要性」「有用性」を十分に考慮し、必要最小限の使用にとどめます。

② 自主使用基準

(2025年4月現在)

日本生協連の安全性評価の結果に基づき、国が認めた食品添加物のうち、何らかの制限を加える必要があると判断したものを「管理添加物」としています。

1	「不使用添加物」 10品目	「安全性を量的に判断する科学的根拠がない物質」及び「遺伝毒性発ガン物質と考えられる品目」で、県民せいきょうで取り扱う商品には使用しません。 ※医薬品・医薬部外品は除きます。市場流通品で日常的に使用頻度が低く、代替が困難な商品は除きます。
2	「使用制限添加物」 42品目	「安全性を量的に判断できる科学的根拠はあるが、懸念すべき問題がある物質」のことで、コープ商品(日本生協連・コープ北陸・県民せいきょう)には使用しないことを基本に、代替ができない原料・商品については取り扱いを行います。一般商品については仕様書にて使用状況が把握、情報提供ができる状態であれば取り扱いを行います。

■ 安全確認業務(商品検査)

組合員に安心して商品をご利用いただくために、コープの宅配の新規取り扱い商品やハーツ店内加工商品を中心に微生物検査、産直農産品を中心とした残留農薬検査を実施し、取り扱い商品の安全確認を行っています。

■ 2024年度検査数

項目	24年度	23年度	前年比	主な検査商品
微生物検査	7,703件	7,761件	99.3%	・ハーツ店内加工の惣菜・畜産・水産商品 ・コープの宅配の新規取り扱い商品など
残留農薬検査	159件	169件	94.0%	・福井県産直協議会生産者の農産物など
合計	7,862件	7,930件	99.1%	

■ 工場点検数

24年度	23年度	前年比
35件	32件	109.4%

■ HACCPに沿った取り組み

原材料から製品、食事ができあがるまでの間の食品の安全を確保するための基準を定め、基準通り製造されているかを確認・記録することで、食中毒や異物混入を未然に防止します。

ハーツ、ハーツ生鮮加工センター、食品加工センター、高齢者介護施設きらめきにおいてHACCPに沿った衛生手法で、衛生管理レベルの向上に取り組んでいます。



組合員の声

組合員の声を生かす

組合員の声は生協の財産です。組合員や地域社会との積極的なコミュニケーションを図り、組合員からの声を毎日の業務に生かしています。組合員の声はコールセンターで一元管理し、業務の点検と見直し、改善を行い、業務に反映しています。2024年度は153,299件の声が集まりました。



チャネル別	24年度実績	23年度実績	前年比
コールセンター	135,053件	131,245件	102.9%
ひとことめも	7,136件	7,339件	97.2%
ハーツ私のこえ	1,081件	1,025件	105.5%
ハーツアプリ	174件	103件	168.9%
宅配アプリ	939件	1,039件	90.4%
共済アンケート	445件	553件	80.5%
介護利用者の声	1,360件	1,237件	109.9%
子育て利用者の声	988件	991件	99.7%
地区・事業委員会の声	958件	1,109件	86.4%
総代通信おたより	64件	83件	77.1%
機関紙おたより	101件	168件	60.1%
その他	5,236件	4,804件	109.0%
合計	153,535件	149,696件	102.6%

声の性質別	24年度実績	23年度実績	前年比
商品品質お申し出	5,656件	3,661件	154.5%
接遇他お申し出	4,925件	5,351件	92.0%
良い声	8,677件	8,664件	100.2%
企画・品揃え要望	910件	994件	91.5%
意見要望	3,025件	3,590件	84.3%
問い合わせ	86,188件	84,733件	101.7%
地域の声	101件	174件	58.0%
その他	44,053件	42,529件	103.6%
合計	153,535件	149,696件	102.6%

商品品質お申し出発生率	24年度実績	23年度実績	前年比
宅配全体	88ppm	91ppm	96.7%
宅配農産	510ppm	463ppm	110.2%
店舗全体	11ppm	12ppm	91.7%
店舗農産	43ppm	51ppm	84.3%

※ppm…100万分の1

■ 地区総代会議、総代通信

組合員の代表である総代を対象に、年2回の地区総代会議を開催し、事業や日頃の生協に対する声を聞き、方針に反映させています。総代には年2回アンケートを行い、重点方針の理解度や進捗に対する評価を受けています。



2024年度よせられた組合員の声

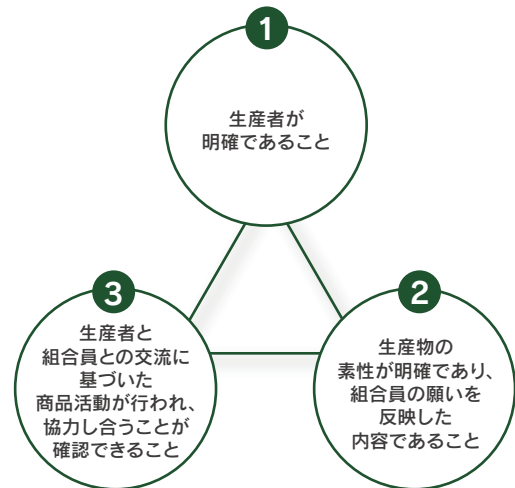
- ・宅配…少量規格の要望、eフレンズ・宅配アプリ(利便性向上・学習会)・宅配ロッカーについて
- ・店舗…ハーツ恐竜 セルフレジについて、ポイントの使い方について
ハーツアプリについて、品揃えについて
- ・くらしのサポート…ハーツ便・ハーツのネットスーパーおつかいさん
ベビー用品レンタルについて、くらしの相談業務への期待
- ・高齢者介護…きらめきへの感謝、施設開所への期待
きらめき保健室について
- ・SDGs…食品ロス削減への取り組み評価、空缶・透明トレイのリサイクル
フードバンク・フードドライブの拡大、水力発電への期待
- ・組合員活動・広報…SNS取り組み推進、生産者との交流
フレイル予防・健康講座の要望、男性の運営参加について
- ・その他…出資金について、職員の処遇について

産直・地産地消

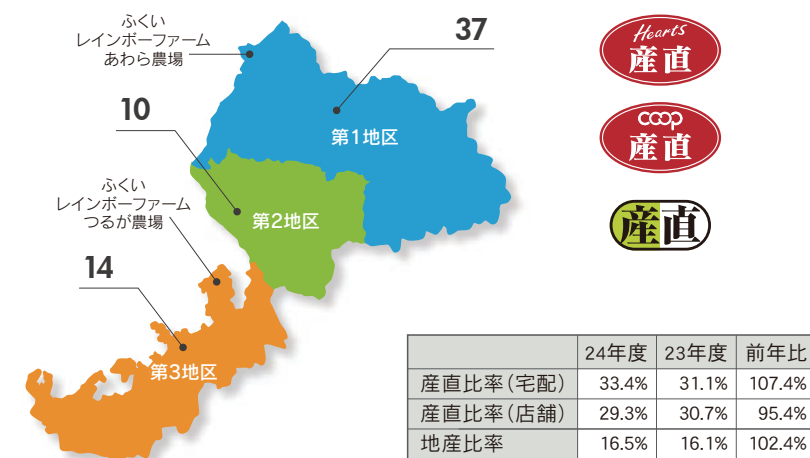
地域と進める商品作り



県民せいきょうの産直三原則



産直生産者・団体数（福井県:62）(県外:21)



適正農業規範による産地点検

適正農業規範(県民せいきょう版GAP)に基づき、生産者と生協が一緒に年1回点検を行い、農産物の生産から流通の品質や安全性を高めています。

- 5つのめざすもの
- ①法令遵守と産直活動の理解
 - ②農産物の安全性確保
 - ③農産物のトレーサビリティ、および適正表示の確保
 - ④環境保全型農業の推進
 - ⑤農業者の安全と健康の確保

産直協議会の産直交流

産直協議会では、産地見学や出前講座などを通して、生産者と組合員の交流を積極的に行っています。2024年度は県内の産地をバスツアーで訪問する見学会や学習会を開催し、産地の状況や生産者の想いを発信しました。各地域の生産者の声やこだわり、苦労など、生の声を聞くことで商品のファンになり、生産者の顔が見える関係づくりにつながっています。



フジタファーム
ブロッコリー収穫体験



山本農園
すいか収穫体験



本原農園
大根収穫体験

ふくいレインボーファーム

つくる、つなぐ、まなぶを通じて福井の元気づくりに貢献

安全・安心で新鮮な農産物を提供することを目的とし、2016年1月に設立した生協農場です。地域と連携を図りながら、県内の農業活性化をめざし、地産地消推進や耕作放棄地解消などに取り組んでいます。あわら市で露地園芸、敦賀市で米づくり、施設園芸、みかん栽培を行っています。



食品加工センター

2018年4月より、JA福井県経済連と連携して、福井県産の農作物を使用した惣菜や弁当の製造を行う食品加工センターを稼働しました。

食品加工センターでは、野菜の加工や食材セット「ハパッとCOOK」、食事宅配の弁当、ハーツの惣菜、福祉施設の食事などを製造しています。HACCPに沿った衛生管理を徹底しており、原料受け入れから商品出荷までの各工程で、食中毒などの危害を未然に防止する取り組みを行っています。



エシカル消費

誰かの笑顔につながるお買物

エシカル消費とは、買物をするときに自分視点だけでなく、環境や社会など他者への視点をプラスする消費のことです。生協ではこれを「誰かの笑顔につながるお買物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。



エシカル消費キャンペーンの開催

24年度はコープの宅配、ハーツで6月「洗剤寄付キャンペーン」、10月「CO・OPレッドカップ・ピンクリボン運動キャンペーン」を開催し、エシカル消費普及を行いました。



単位(千円)

クイズ応募対象商品 (洗剤)供給実績			
実績	前年	前年比	
3,520	2,058	171.0%	
280	221	126.6%	
3,800	2,279	166.7%	

単位(千円)

クイズ応募対象商品 (CO・OP化粧品・コープヌードル等) 供給実績			
実績	前年	前年比	
6,409	6,087	105.3%	
3,924	3,489	112.5%	
10,333	9,576	107.9%	

2024年度 春エシカル消費月間(重点商品)

エシカル分類	宅配			店舗			全体		
	24年実績	23年実績	前年比	24年実績	23年実績	前年比	24年実績	23年実績	前年比
森のエシカル(FSC® 認証)	9,131	9,057	100.8%	3,868	3,108	124.5%	12,999	12,164	106.9%
海のエシカル(MSC認証)	892	943	94.6%	1,460	1,423	102.6%	2,352	2,366	99.4%
プラスチック問題のエシカル	6,698	5,597	119.7%	1,046	1,196	87.5%	7,744	6,793	114.0%
産地と生産者を応援するエシカル	3,564	3,135	113.7%	2,921	2,933	99.6%	6,485	6,068	106.9%
その他エシカル(1人1人が輝けるエシカル)	5,671	4,811	117.9%	1,692	1,529	110.7%	7,363	6,340	116.1%
対象商品合計供給高	25,956	23,543	110.2%	10,987	10,189	107.8%	36,943	33,732	109.5%

※対象期間(宅配:5月5回〜6月4回、店舗:5月13日〜6月30日)

「ふくいおもいやり消費応援団」第一号登録

環境や社会に配慮した消費行動「エシカル消費」をPRするために福井県が推進する「ふくいおもいやり消費応援団」の第一号として登録されました。コープの宅配では、産地支援として、野菜や果物などの余剰食品を定期登録で企画し、毎週お届けをしています。ハーツでは、牛乳など消費期限の短い日配商品など「てまえどり」運動の呼びかけを積極的に行い、食品ロスの削減に取り組んでいます。また、ノントレイ商品を増やしプラスチック削減をめざす取り組みや、回収したペットボトルをリサイクルして商品の包材に活用する「おもいやり消費」に取り組んでいます。



宅配事業・共済事業

おいしさに安心をプラスした商品を毎週お届け



コープの宅配

食料品や雑貨品、各種サービスや暮らしに役立つ情報を、毎週の配送を通して担当者がお届けします。

- 宅配事業高 12,718(百万円)
- すくすく便登録人数 10,831人



■ コープの宅配ロッカーの導入

組合員の多様な生活スタイルに合わせて、これまでの個人宅配・グループ購入・ステーションでの利用に加えて、新たにコープの宅配ロッカーを2025年3月丹南エリアで導入しました。宅配で注文した商品をご都合のよい時間に受け取りに来ていただくことで、組合員の利便性の向上につながりました。



■ はじめてばこの取り組み

福井に生まれた赤ちゃんの明るい未来を祝福しようと、福井テレビ子育て応援プロジェクトに協賛し、「FUKUI HAPPY BABIES ～はじめてばこ～」の取り組みを2019年1月から行っています。

福井県をイメージしてデザインされた『はじめてばこ』の中には、赤ちゃんのはじめての記念を写真で残すためのアルバムや、コープの赤ちゃん用品などが詰められており、応募があったご家庭にお贈りしています。

- 2024年1月～
2024年12月までの
お届け数 2,253件



■ CO・OP共済

相互の助け合い、暮らしの中の危険による損失を保障することを中心に、暮らしの向上に役立ち、豊かな社会づくりの貢献をめざしています。ハーツの共済カウンターは気軽に立ち寄れ、落ち着いて相談できるカウンターとなっています。2024年度はCO・OP共済40周年を迎えました。



- ★『共済年鑑2025年版』より。
- ★各共済によって、子ども向け保障商品の加入年齢・満期年齢・保障内容等は異なります。《たすけあい》ジュニアコースは、加入年齢0歳～満19歳・満30歳満期の商品です。他の共済ではジュニアコースよりも加入年齢・満期年齢が低い商品があります。

店舗事業

コープ商品や地産商品・産直商品を豊富に品揃え



Hearts (ハーツ)

Hearts(ハーツ)は、Health(健康)、Ecology&earth(環境と地球)、Amenity(快適)、Relief(安心)、Trust(信頼)、Symbiosis(共生)の意味が込められた生協のお店です。

- 店舗事業高 11,983(百万円)
- ハーツふく育応援登録人数 12,373人



■ ハーツ恐竜オープン

福井駅東口より徒歩8分の福井市日之出地区にハーツ11号店となる「ハーツ恐竜」が2024年9月オープンしました。内装は、売場のいたるところに恐竜デザインをあしらっております。「恐竜の街ふくい×ふくいの歴史×現代」をつなぐ、福井駅玄関口のシンボルとなるお店をめざしています。



■ ハーツプライス設定

食品価格高騰が続く中、利用の多い商品を中心に約500品目を「ハーツプライス」と称し、お買得価格にて設定しました。前年比122.0%とたくさんの方にご利用いただきました。



■ リサイクル回収の強化

ハーツ全店にて、2024年4月より「アルミ缶・スチール缶」、7月より「透明食品トレー」のリサイクル回収をスタートしました。



介護事業・高齢者福祉

あなたらしいいつまでも



「あなたらしいいつまでも」を福祉理念とし、高齢になっても住み慣れた地域で、安心して自分らしくらし続けられるように、介護保険サービスやさまざまな啓発活動・まちづくり活動を行っています。



■ 生協10の基本ケア

ご利用者自身による自分らしいくらしの継続や生涯現役をサポートするため、きらめきでは、ご利用者の気持ちやケア指針10項目に沿って、環境整備や心身機能維持向上、社会参加などのお手伝いを行っています。病気や筋力・体力の低下にならない環境を整え、人の自然な動きを基本とした動作支援で、日常生活の行為が生活リハビリになるようサポートしています。

生協10の基本ケアとは

- | | | | | |
|---|--|--|--|--|
| ①換気をする
新鮮な空気を取り込み衛生的な環境にすることで病気になる環境づくり | ②床に足をつけて座る
足を使う習慣で身体や脳を刺激しながら生活行為が自分でできる体づくり | ③トイレに座る
トイレで排泄する“当たり前”の習慣で自尊心が高まるサポート | ④あたたかい食事をする
親しい方との食事の楽しみを継続し活力や栄養状態を高めた身体づくり | ⑤家庭浴に入る
湯船にゆったりとつかり温浴効果を取り込んだくつろげる生活づくり |
| ⑥座って会話をする
落ち着いた雰囲気や不安や将来への希望を話し合える人間関係づくり | ⑦町内にお出かけをする
外に出かける習慣で生活リズムを整え地域の人々とのつながりづくり | ⑧夢中になれることをする
自分の「したいこと」「したかったこと」に夢中になれる機会や居場所づくり | ⑨ケア会議をする
くらし方やサポートの方向性をご本人、ご家族、関係者を行う対話の場づくり | ⑩ターミナルケアをする
最後までご本人らしく過ごすための医療・福祉・介護による連携したサポートづくり |

■ 敦賀きらめきサービス付き高齢者向け住宅開所

2024年7月に敦賀きらめき既存施設の南側にサービス付き高齢者向け住宅がオープンしました。既存のサービスや地域と密接な関わりを通し、お一人おひとりが地域住民の一員として、安心していきいきとくらし続けていただくことのできる住まいづくりをめざします。

■ 県内すべてのエリアで「きらめき保健室」「介護相談室」を開催

くらしの中で、誰に相談したらいいのかわからないこと、病院に行くほどではないけれど、ちょっと気になることがある。誰かと話したい時やお茶を飲んで一息つきたい時にも立ち寄れる“集いの場”として「きらめき保健室」を定期的に開催しています。

■ 結城きらめき事業統合

県民せいきょうのグループ会社「株式会社ケア・サービス・アイ」が事業統合により、2025年4月「結城きらめき」として事業を開始しました。従来から行ってきた事業サービス(小規模多機能型居宅介護・認知症対応型共同生活介護)は継続し、訪問介護事業については「敦賀きらめき」に統合し、引き続きお役立ちに努めます。

■ 「認知症フォーラム」「おとなの健康大学」開催

認知症にやさしいまちづくりの推進として、福井県と連携し「認知症フォーラム」、また、CO・OP共済連健康支援企画「おとなの健康大学～VR認知症体験&健康体操～」を開催しています。



くらしのサポート

食とくらしのお困りごとを支援



普段の買物や食事作りに困っている方のために県内20台の移動店舗「ハーツ便」が高齢化集落や中山間地、市街地での買物支援に、「ハーツのネットスーパーおつかいさん」では、ハーツの食品やお惣菜をご自宅までお届けします。他にも買物バスや食事宅配など、毎日の食を支えます。

	24年度	23年度	前年比
おつかいさんのべ利用人数	20,630人	21,335人	96.7%
ハーツ便停留所数	1,278箇所	1,150箇所	111.1%
お買物バス台数	13台	12台	108.3%
お買物バス利用人数	45,889人	43,954人	104.4%
食事宅配食数(週平均)	11,354食	11,230食	101.1%
介護食・医療食食数(週平均)	2,376食	2,416食	98.3%
みれいの会会員数	3,141人	3,132人	100.3%
葬儀年間施行件数	112件	102件	109.8%
葬祭事業シェア率	1.06%	0.97%	109.3%



■ 食事宅配、介護食・医療食

バランスを考えた日替わりの食事をご自宅までお届けします。24年度は新たに越前市中心市街での昼食エリアの拡大を行いました。



■ 移動店舗 ハーツ便

中山間地を中心に、買物に不自由をきたしている方への支援として定期巡回しています(約500～800品目を品揃え)。24年度は新たにハーツ志比口からの運行を始めました。



■ コープのベビー用品レンタル

2023年7月より、組合員より要望の高かったベビー用品(チャイルドシート、ジュニアシート)のレンタルサービスをハーツ志比口でスタートしました。2024年2月からはエリアを拡大し県内全域でのサービスに拡大しました。帰省や里帰り出産など一時的な利用をされる方を中心に好評いただいています。



■ きらめきくらしのサポート

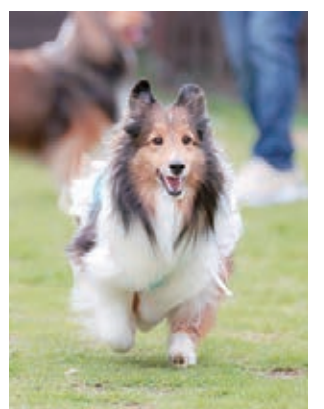
専門的な介護や看護ではなく、お掃除や食事作り、病院の付き添い、産前産後のお手伝いなどのちょっとしたお困りごとを支援する有償の家事援助サービスです。きらめきくらしのサポートを通して地域に温かな助け合いの心と助け合いの輪を広げています。

	24年度	23年度	前年比
総活動時間	5,257h	7,079h	74.2%
活動回数	3,518回	4,813回	73.1%
のべ利用人数	924人	1,087人	85.0%



■ コープのペット葬

コープのペット葬オリジナル価格でサービスを提供しています。お式後の供養の相談や事前相談にも親身にお応えします。大切な家族の旅立ちを、心安らかにお見送りできるように、気持ちに寄り添いお手伝いします。



子育て支援

みんなが安心してらせる地域づくり



福井でくらす子どもや、ママ・パパが安心してサービスを利用いただけるよう、コープの宅配、ハーツ、ハーツきっずで取り組んでいます。ハーツきっずでは、パパへの支援の取り組みとして「お父さんと遊ぼう」の企画も行っています。

子育て支援 ハーツきっず

妊娠中から切れ目なく子育てを応援しています。ご家族のみなさんが「自分らしく」「安心して」子育てできる環境づくりに取り組み親子交流の場である子育てひろば、一時預かり、放課後児童健全育成事業（児童クラブ）、放課後等デイサービスを行っています。

- 子育て支援センター 6施設
- 児童クラブ 3施設
- 放課後等デイサービス 1施設



ハーツきっず清水

県民せいきょうのグループ会社「株式会社ケア・サービス・アイ」が事業統合により、「放課後等デイサービス事業所アフタースクール アイ」が「ハーツきっず清水 放課後等デイサービス」として、県民せいきょう初の放課後等デイサービス事業として継続していきます。



きっずまつり

子育て委員会主催のきっずまつりをハーツきっずにて開催しました。ハイハイレースやベビー用品のバザー、子育て層向けのコープ商品の試食会を行いました。



組合員活動

もっと広がれ組合員の輪



県民せいきょうの組合員活動のありたい姿

- ①一人では実現できない願いをみんなで実現する（自主自発の活動）
- ②生協の商品やサービスの良さを学び合い、広げていくことで生協ファンを増やす（事業を支える活動）
- ③地域の課題を地域のみなさんと一緒に解決していく活動（地域と一緒に進める活動）

項目	24年度	23年度	前年比
運営参加人数(のべ)	5,461人	5,182人	105.9%
活動参加人数(のべ)	18,836人	15,439人	125.6%
コープの会数	26	27	96.3%



▲敦賀宅配委員会 商品ファンクラブ
～スマイル見学～



▲恐竜店舗委員会
～迎春試食会～



▲コープの会丹南エリア さばえ東コープの会
～防災グッズや防災食を見て試してみよう!～



▲コープの会若狭エリア 商品たんけん隊
～伊勢屋さんに教わる季節の和菓子作り～



▲LPAの会 子ども向け金銭教育
～行列のできるレストラン～



▲坂井地区産直協議会 あわら農楽ファーム
～スマート農業を体験しよう～

こーぷの学校

親子で楽しみながら生協について知っていただけるよう、各地区ごとに毎回工夫を凝らした企画が開催されました。



こーぷの子育て商品モニター

子育て中の組合員を対象とした「こーぷの子育て商品モニター」を開催しました。年4回のコープ商品の試食とオンライン学習会の参加、年1回のわいわいるん交流会に参加していただきました。子育て中の組合員が自宅から企画に参加できる新たなカタチとなりました。



地球温暖化対策の推進・普及活動

温室効果ガス削減計画



環境の取り組みを重要な社会的責任のひとつとして位置づけ、組合員や地域社会のみならずとともに、持続可能な循環型社会の実現をめざします。生協の事業活動を通じて「地球温暖化防止」「循環型社会の実現」「社会との調和」の取り組みを行い、豊かなくらしと地球環境保全の実現をめざします。



温室効果ガス削減計画

2030年までに2013年対比50%の温室効果ガスを削減することを目指して温室効果ガス削減計画を設定して取り組みを進めています。「減らす(省エネ)」だけでは難しい目標を、「つくる(創エネ)」と「再エネ活用」により達成させていく計画となっています。施設の省エネは新規出店や改装時を中心に、また、フロン対策にあわせて機器の入れ替えや導入を行っています。

	実績		成り行き予測	対策効果			計画
CO2排出量	13年度	24年度	30年度	省エネ	創エネ	再エネ活用	30年度
店舗CO2排出量	6,697t	5,514t	6,745t	▲246t	▲3,878t	▲2,431t	4,745t
宅配CO2排出量	1,169t	1,183t	763t				
物流CO2排出量	266t	1,535t	2,199t				
本部CO2排出量	191t	856t	179t				
福祉CO2排出量	1,168t	1,420t	1,414t				
合計CO2排出量	9,491t	9,808t	11,300t				
(2013年度比)	－	104.3%	119.1%				50.0%

※24年度実績は前年度のCO₂排出係数で試算

店舗の省エネ・節電対策

店舗では、省エネと節電対策として、飲料ショーケースの消灯や夜間電源オフ、冬場の電源オフなどの取り組みを行いました。



2050カーボンニュートラルカードゲーム

「なぜカーボンニュートラルが叫ばれているのか?」、そして「そのために、わたしたちは何を考えどう行動するのか?」に関する学びや気づきをゲーム体験を通じて学びます。組合員や地域の方を対象にゲーム体験会を実施し、カーボンニュートラルの理解を進めました。



デコ活ふくい

福井県において、2050年のカーボンニュートラル達成および2030年度の温室効果ガス49%削減(2013年度比)の達成に向けて、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る県民運動「デコ活ふくい」を展開し、家庭でできる身近な省エネ行動を促進しています。ハーツ各店もふくecoアプリのスポットに登録し、エコアクションを推進しています。



減CO₂(げんこつ) プロジェクト

くらしの中のムダから生まれるCO₂が大好きなモンスターをイラストで描くことで、身近なCO₂排出源を見つけ、CO₂削減をめざすプログラムです。日本総合研究所と連携して夏休みの体験教室として開催しました。ニヤートラルと一緒に、CO₂を減らす冒険に出かけました。



再生可能エネルギー対策

「減らす」取り組みから「創る」取り組みへ



太陽光発電や水力発電といった自然エネルギーを活用した再生可能エネルギーの開発は、地球温暖化防止にも寄与します。未来の子どもたちに豊かな環境を残していくためにも、再生可能エネルギーの開発を進めていきます。



COOP黒河川水力発電所

2018年から事業検討を行い、2023年より工事着工、2025年6月に完成し運転を開始しました。流量1.8m³/s、落差34.0m、発電出力499kW、年間総発電量3,130MWの水力発電所です。一般家庭約1,000軒分の電力をまかなう発電所となっています。エネルギー源は水なので、自然を汚すことやCO₂を排出することなく発電を行うことができます。6月には関係者立ち合いのもと開所式を行いました。20年間はFITの固定価格買取制度を活用した売電を行います。以降も地域の電源として活用し続ける予定です。



太陽光発電システムの設置拡大

固定価格買取制度を活用し、太陽光発電の設置を進めてきましたが、2021年度からは、自家消費型太陽光発電の導入を進めています。2024年度にはハーツはるえ・恐竜、カタログセットセンターに自家消費型太陽光発電設備を導入しました。太陽光発電は、FITで2274.5kW、自家消費で2224kW、合計4498.5kWの設備容量となりました。



生協グループの発電設備(FIT15ヵ所、自家消費11ヵ所) ※2025年4月現在			
【FIT】			
・丸岡物流センター(坂井市)	450kW	・ハーツ志比口(福井市)	49.5kW
・本部センター(福井市)	30kW	・ハーツさばえ(鯖江市)	49.5kW
・店舗物流センター(福井市)	250kW	・ハーツたけふ(越前市)	49.5kW
・丹南センター(鯖江市)	49.5kW	・ハーツつるが(敦賀市)	49.5kW
・敦賀センター(敦賀市)	49.5kW	・ハーツわかさ(小浜市)	49.5kW
・ハーツはるえ(坂井市)	49.5kW	・第2生鮮加工センター(福井市)	49.5kW
・ハーツ羽水(福井市)	49.5kW	・北陸トラック(福井市)	1000kW
・ハーツ学園(福井市)	49.5kW	FIT合計	2274.5kW
【自家消費】			
・要冷物流センター(福井市)	750kW	・ハーツさばえ(鯖江市)	100kW
・カタログセットセンター(福井市)	126kW	・ハーツ神中(鯖江市)	150kW
・ハーツはるえ(坂井市)	187.5kW	・ハーツたけふ(越前市)	125.5kW
・ハーツ羽水(福井市)	100kW	・ハーツつるが(敦賀市)	100kW
・ハーツ志比口(福井市)	126kW	・ハーツわかさ(小浜市)	33.3kW
・ハーツ恐竜(福井市)	126kW	自家消費合計	2224kW
FIT+自家消費			4498.5kW

3Rの推進・BCP対策

持続可能な社会をめざすための基盤づくり



3Rの推進のために、買物袋持参運動だけでなく、容器包装のリサイクルや食品リサイクルの取り組みを積極的に進めています。集めた資源は、エコセンターで一次加工を行い、循環型社会の構築に向けての取り組みを展開しています。

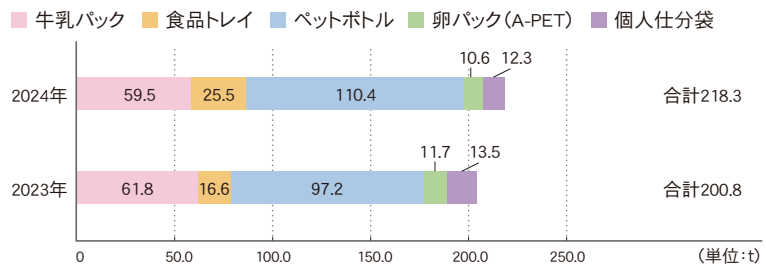
リサイクルの取り組み

3R(リデュース・リユース・リサイクル)推進のために、県民せいきょうではリサイクルの取り組みを積極的に進めています。2024年度は、ペットボトルの回収量が大きく増加しました。また2024年7月より透明食品トレイの回収を開始し、食品トレイの回収量も増加しました。



▲リサイクルBOX

■容器包装リサイクル回収量推移



リサイクルステーション

「リサイクルステーション」では、家庭から出る古紙(新聞紙・チラシ・雑誌・その他雑紙)と廃食油(てんぷら油)を回収しています。集めた古紙は再生紙として、廃食油は飼料や肥料、石けんなどにリサイクルされます。



■リサイクルステーション回収実績

	24年度	23年度	前年比
古紙	1,575t	1,356t	116.2%
廃食油	12.2t	12.6t	96.8%

食品リサイクルの取り組み



■堆肥化率

	24年度	23年度	前年比
はるえ	77.2%	87.8%	87.9%
羽水	70.0%	72.8%	96.2%
学園	66.0%	64.6%	102.2%
志比口	64.8%	70.1%	92.4%
恐竜	58.9%	-	-
さばえ	55.2%	61.5%	89.8%
神中	60.6%	60.0%	101.0%
つるが	68.6%	68.4%	100.3%
全店平均	65.4%	69.3%	94.4%

※たけふ、わかさ、三方五湖では、堆肥化リサイクルは行っていない。

コープ商品に生まれ変わるペットボトル

2023年4月よりハーツで回収されたペットボトルは、100%コープ商品の包装の原料としてリサイクルされ活用されるようになりました。

ハーツで回収したペットボトルは、坂井市にあるエコセンターに集め、約1tの塊に一次加工されます。その後、再生樹脂処理工場、フィルム製造工場、包装製造工場、メーカーにて商品製造が行われ、再びコープの宅配やハーツで商品としてご利用いただけます。



▲再生PET素材から包材がつくられているコープ商品



エコセンター

組合員や事業所から出る紙やプラ類を集約し、品質の高いリサイクルの一次加工を行う施設を2015年6月に設立しました。関係団体の「一般社団法人ほのほのハーツ」で障がい者雇用を行い、就労支援の場づくりとしても位置づけています。



エコセンター外観



大型圧縮機では、1tの古紙の塊を作っています。異物などは職員の手で取り除きます。

■エコセンター回収実績

	24年度	23年度	前年比
注文書	1,688t	1,505t	112.2%
ダンボール	593t	566t	104.8%
新聞紙	63t	69t	91.3%
プラスチック類	134t	177t	75.7%
合計	2,478t	2,317t	106.9%

BCP対策

大雪への備え 除雪車導入

この間の豪雪を受けて、大雪への備えを強化しました。大型のホイールローダ(除雪車両)を、各地区本部に2台ずつ配備しました。これまで大雪時には、業者に委託して駐車場を除雪していましたが、自前で除雪ができるようになり、雪の日の組合員の駐車場の利用のしやすさや、配送拠点での対応力強化につながりました。



オリジナル防災セット

令和6年能登半島地震の発生を受けて日頃の災害への備えを行っていただくために、福井新聞社との共同企画でオリジナル防災セット企画を行いました。



多様性を認め合う 活力ある組織をめざして



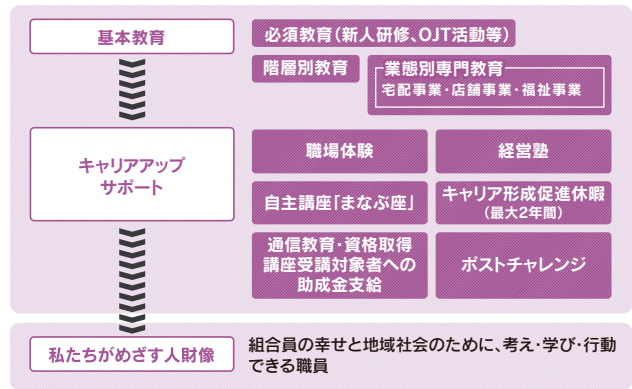
多様な働き方に対応できる雇用フレーム（勤務エリアや職務範囲の制限）やキャリア形成支援、心と身体の健康維持、増進活動などの支援を行っています。

仕事と家庭の両立支援制度では、独自の育児休暇制度としてベビー休暇制度（男性の育児休暇）や、1日2時間短縮して働くことができる短時間勤務制度があります。また、子育て支援制度（企業内託児）によって、育児と仕事の両立を支援しています。

2024年度育児休業取得率	
男性	100.0%
女性	100.0%

学び育む教育制度

入協後にはOJT活動や必須教育、業態別専門教育、階層別教育を基本に、職員一人ひとりに応じた教育を行っています。さらに、職員の「学びたい」ニーズに応えるために通信教育や資格取得、研修受講に対する助成金制度を設けています。また、職員の自主参加型講座の開催などを通して自己啓発をサポートしています。



職員意識調査

毎年1回、組織に対する思いや各施策に対する理解度や意見・要望を把握するために全職員に対し、「職員意識調査」を実施しています。その中で理念やビジョンに共感し、仕事にやりがいを持ってイキイキと働く職員を「コアパーソン」と位置づけています。職員意識調査の結果や職員の声を分析し、翌年度の施策に反映することで、組合員・利用者にとっけりと向き合うことができる職員育成と、それを支える土壌づくり（組織風土）に取り組んでいます。

●コアパーソン比率 82.1%

職員が働き続けるために

職場の上司や先輩職員がトレーナーとなり教育を進めるOJT活動を通して、必要な知識や能力・技術を教育するとともに、面談を通して仕事に対する不安や悩みの解消を行っています。また、各職場に所属長以外の相談窓口として、一般職の中から「労務相談員」を選出し、相談がしやすい環境整備を行っています。

2024年度離職率	
R・L職員【正規職員】	4.70%
P職員【非正規職員】	12.45%
全体	9.74%

離職率
 $\frac{\text{離職者数} - \text{一定年退職者数}}{\text{年度末人数} + \text{離職者数}} \times 100$

ほのぼののハーツ（障がい者雇用）

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するために障がい者福祉サービス事業所（就労継続支援）として事業を行っています。

主に県民せいきょうの事業所（COOP宅配センター・エコセンター・農産加工センター）で、一般就労に近い環境の中、現在約70名の障がい者のみなさんが生協関係職員と一緒に仕事をしています。

ほのぼののハーツ 法人理念

「誰もが、安心してらせる地域社会をめざします」



有給取得率

有給休暇については、全職員個別に年間7日間の取得計画を年度初めに立て、計画的に取得しています。

2024年度の有給取得率は、全体で76.9%（一人あたり平均取得日数は12.0日）、R・L（正規）職員では66.0%（一人あたり平均取得日数11.0日）となっています。2024年度は対象職員全員が法定基準5日を上回る7日以上の有給休暇を取得しました。

2024年度実績		
雇用区分	有給取得率	一人あたり平均取得日数
R・L職員【正規職員】	66.0%	11.0日
P・E職員【非正規職員】	83.2%	12.5日
全体	76.9%	12.0日

身だしなみ基準の見直し

職員が互いの多様性を認め尊重し、一人ひとりが意欲を持って働ける環境を整える取り組みとして、身だしなみ基準を見直しました。自分らしさや能力を最大限に発揮し、これまで以上に生産性と業務品質を向上させることで、組合員・利用者の皆さまへの満足向上につなげていきます。

身だしなみの基本的な考え方

- ①原則自由とし、保健衛生・食品衛生法・労働安全衛生法の観点から、衛生的で安全な動きやすいものとします。
- ②制服を正しく着用します。
- ③清潔感があり好感が持てるものとします。

共済会り〜ふ

共済会「り〜ふ」は職員の相互扶助の精神に基づいて作られた福利厚生のための組織です。健康診断補助などの健康・医療事業、職員の慶弔に対する慶弔金、資格取得や通信教育受講費の補助を行っています。さらに、職員交流のための団体旅行や年賀会企画、職場内交流会援助などを行っています。

経営品質活動の取り組み、 アイデア提案制度、仕事品質向上活動

職員による改善

〈アイデア提案制度 ～小さな気づきからの改善と仕事品質の向上～〉

職員の気づきから仕事の品質向上につなげ、組合員満足の向上につなげる提案制度で、年間約1,500～2,000件の提案があります。毎月管理職会議で効果のあった提案について投票し、「グッドアイデア月間MVP」を決定しています。生協内で表彰し、MVPニュースで共有しています。他の事業所でも好事例を活用できないか話し合い、一人の職員のアイデアを全体へつなげる取り組みを行っています。

〈仕事品質向上活動 ～チームで進めるお役立ち価値・仕事品質の向上～〉

仕事品質の向上を図り、組合員利用者の満足度向上へつなげることを目的に、事業所やチーム単位で課題や「あるべき姿」について話し合い、テーマを設定、改善に取り組んでいます。



▲り〜ふバーベキュー企画



▲新人研修（安全運転）



地域へのお役立ち

地域とのつながりを大切に安全・安心な地域づくりを応援



■ 福井新聞社と包括連携協定を締結

2024年6月福井新聞社と包括的連携に関する協定を締結しました。連携協定は「県民の食とくらしを守る」をスローガンに設定し、主要4テーマでの連携に向け担当者レベルの専門部会を立ち上げて事業立案に取り組みを行います。

主要4テーマ

- 生活物流
- 県民の防災意識向上
- 子育て支援
- SDGs(持続可能な開発目標)

■ 福井県防災士会と連携協定を締結

2024年8月、福井県防災士会と連携協定を締結しました。協定では、福井県民の防災力を高め、災害に強い社会の実現に寄与することを目的に、「県民の知識や意識向上に向けた取り組み」、「防災商品の共同開発と普及に向けた取り組み」、「防災士の拡大に向けた取り組み」、「災害発生時における連携など」について連携していくことを約束しました。



■ 市民活動助成金制度

福井県民生協市民活動助成金制度は、県内の公益的・社会活動に取り組む市民団体やグループの活動を資金面で支援する制度です。2006年度より行っており、今回で20回目となります。今回の助成団体は社会貢献基金運営委員会での評価の結果、16団体を助成候補団体として選出し、総額95万円を助成していきます。

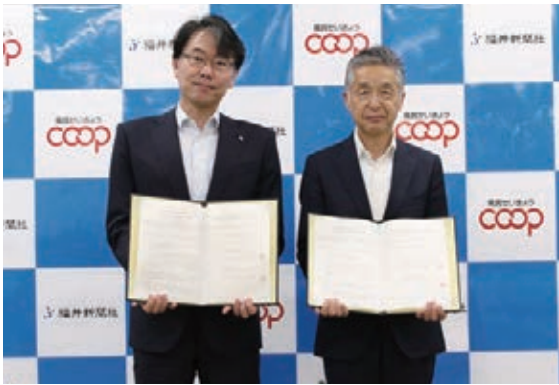
今後、助成団体への情報提供やイベントでの連携を進めながら、つながりや交流を作っていきます。

活動エリア	団体名	活動分野	活動エリア	団体名	活動分野
坂井・あわら	musubu	環境	丹南	越前市食生活改善推進委員会	食育
坂井・あわら	Cheers	子育て支援	県内全域	特定非営利活動法人 ふくいこどもホスピス	子育て支援
県内全域	わくにご実行委員会	環境・その他	丹南	トーンチャイムサークル「響子」	その他
坂井・あわら・福井	福井県寿司商生活衛生同業組合	食育・福祉	県内全域	The charming チャイム	その他
坂井・あわら・福井・奥越・丹南	CPLプロジェクトチーム	福祉	敦賀	子ども食堂 めぐの家	食育・福祉・子育て支援
県内全域	笛吹きクローバー	福祉・その他	敦賀	敦賀気比高校OBOGアート展けひのわ	その他
丹南	福井ドレミの会	子育て支援	小浜	NPO ヨダカの森	環境
県内全域	オカリナサークルしろたんズ	福祉・その他	小浜	若狭日本語の会 はなそう!にほんごのわ	その他

■ 敦賀市と包括連携協定締結

2025年3月、敦賀市役所において、「包括連携協定」を締結しました。この間の「災害時の物資協力協定」「地域見守り協定」を包括して、SDGsやエンカール消費の推進、脱炭素社会の実現など11項目で連携を取りながら、より地域に根ざした活動を敦賀市と一緒に進めていきます。自治体との包括連携協定は、南越前町・鯖江市・越前市・大野市・小浜市に次いで6自治体となりました。

項目	24年度	23年度	前年比
地域団体・行政とのネットワーク数	377件	362件	104.1%



■ ふくい協同労働推進協議会を発足

2024年7月、福井県や自治体、県民せいきようで構成する「ふくい協同労働推進協議会」が発足し、労働者自らが出資、運営などを行う「労働者協同組合」の立ち上げや運営を支援する、相互連携のもと取り組みを進めていくことが確認されました。



■ 令和6年能登半島地震支援・募金活動

2024年1月1日能登半島で発生した大震災に対して1月3日から3月末まで、宅配・店舗・職員で緊急募金に取り組み、2,354万円の募金が寄せられ、日本赤十字社福井県支部と福井県共同募金会に各1,000万円を義援金として贈呈しました。

被災地への支援活動として1月8日より1週間毎日10名の職員をコープいしかわに派遣し宅配を支援しました。以後も継続して宅配支援や共済訪問活動を行いました。さらに福井県からの要請を受け、支援物資をお届けしました(缶詰3,240個、水600本)。また、福井県介護福祉士会からの要請を受け、石川県の1.5次避難所に福祉職員を派遣しました。

4月27日、6月8日、仮設住宅などに避難している被災者に対して炊き出しを行いました。輪島市町野町で、福井のソースカツ丼など、能登町小浦地区にてお弁当などを提供しました。



■ 能登半島豪雨災害募金

2024年9月21日能登半島で発生した豪雨災害に対して、ハーツおよび役職員で募金活動に取り組みました。

12月、福井県共同募金会に義援金として66万5千円を贈呈しました。



■ 県内大学生への食料支援

福井県生協連合会と連携し、2024年12月にレトルトご飯やカレーなどを物価高で困窮している県内5大学500人の学生にプレゼントしました。



■ 生活困窮者のためのフードバンク・フードドライブ活動・子ども食堂への食料支援

フードバンクは、2014年よりハーツのカップ麺や缶詰、レトルト食品、お米など日持ちする食品を、年3回、社会福祉協議会や自立支援センター、子ども食堂を通じて生活困窮者や必要としている家庭に提供しています。2016年からは、宅配の予備食品を子ども食堂(7団体)に提供することで食品ロス削減に取り組んでいます。2022年度は、食品提供事業者のネットワーク「福井県フードバンク連絡会」を設立し(2025年4月現在22団体)食品収集と提供のしくみを構築しました。

フードドライブは、2019年からハーツ全店舗と奥越の介護施設きらめき2ヶ所においてスタートし、家庭で余っている食品を集めて、福祉施設や子ども食堂に提供しています。フードドライブは食品廃棄ロスの削減にもつながる取り組みです。現在、坂井市・福井市・鯖江市・越前市・大野市・小浜市・若狭町など自治体と共同の取り組みに広がっています。

■ 2024年度実績

項目	回数	数量(点)	重量(t)	金額換算(千円)
フードバンク活動	60回	38,063	13.3	1,131
宅配の予備食品の子ども食堂への提供	12回	6,845	—	3,146
フードドライブ活動	12回	9,324	2.7	—
合計	84回	54,232	16.0	4,277

※フードバンク活動の数量は連絡としての点数と重量、金額は店舗ハーツからの拠出額
※フードドライブは食品に加え一部日用品(紙製品・洗剤)を含んだ点数



▲2024年12月10日福井県フードバンク連絡会と子ども食堂ネットワークふくいとの交流会



▲2023年12月6日福井市木田小学校の児童25名が162点のフードドライブ食品をハーツ羽水に持参いただきました

■ ハーツ全店へフードドライブポストを設置

これまでは、年3回定期的にフードドライブに取り組んできましたが、地域でのニーズの高まりを受けて、2025年4月よりフードドライブポストをハーツに常設し、日常的に受け入れていきます。寄附された食品などは地域のこども食堂や福祉団体に提供していきます。



■ 「食品ロス削減の推進に向けたフードドライブに関する協定連結式」締結

2025年3月坂井市・PLANT・バロー・県民せいきよの4者による「食品ロス削減の推進に向けたフードドライブに関する協定連結式」の締結とポストの設置式を行いました。



サステナビリティに関する 受賞・表彰



全国初 Wプラチナ認定 「プラチナくるみん」「プラチナえるぼし」認定企業になりました

2017年に次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」としてより高い水準の取り組みを行ったことが認められ「プラチナくるみん」に認定されました。さらに2020年には女性活躍推進法に基づき、取り組み状況が特に優良であるなど一定の要件を満たしたため、「プラチナえるぼし」に認定されました。両方の「プラチナ」認定を受けた企業としては全国初となります。



女性登用アワード 受賞

福井県では、働きやすい職場環境づくりや働く女性のキャリアアップを応援するため、2024年度新たに女性登用を積極的に進める企業を顕彰する制度「女性登用アワード」を創設しました。
県民せいきょうは、これまでのダイバーシティ推進に積極的に取り組んできたことを評価され、「女子登用アワード」を受賞しました。

	24年度	23年度	前年比
女性管理職比率	28.8%	27.1%	106.3%
女性管理・監督職比率	51.8%	51.4%	100.8%



令和6年度 社会福祉事業功労者 知事表彰

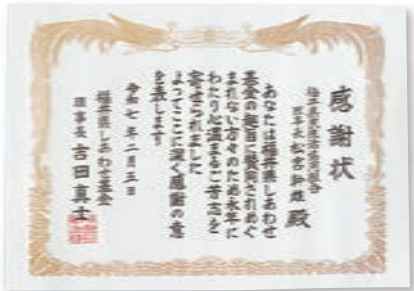
2024年10月23日長年取り組んできた災害時の募金活動や共同募金活動に対して、「社会福祉事業功労者 知事表彰」を受けました。



▲令和6年度 福井県社会福祉事業功労者知事表彰・児童福祉関係者(団体) 知事表彰および感謝状記念 令和6年10月23日 於福井県庁

「福井県しあわせ基金」より感謝状

2020年度より役職員が「福井県しあわせ基金」(福井県・福井新聞社・福井県社会福祉協議会・福井県共同募金会)への募金活動に取り組んできたことが評価され、令和7年2月、感謝状をいただきました。



健康経営優良法人 (大規模法人部門) 認定取得

地域の健康課題に即した取り組みや、日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに優良な健康経営を実践している法人として健康経営優良法人の認定を取得しました。



福井県内自治体別 各種協定締結一覧

協定	市 町	あわら市	坂井市	勝山市	大野市	福井市	永平寺町	鯖江市	越前市	越前町	池田町	南越前町	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	高浜町	締結数	福井県
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	○
災害物資協力協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	○
災害発生時福祉避難所設置運営協定	対象事業所	—	—	—	大野 きらめき	宝永きらめき 江守きらめき 岡保きらめき	—	鯖江 きらめき	丹南 きらめき	—	—	—	敦賀 きらめき	—	—	—	—	—	5自治体 7事業所	
地域見守り活動協定	協定の有無	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9市8町	
包括協定	協定の有無				○			○	○			○	○	○					5市1町	
レジ袋削減協定	協定の有無					○		○	○				○	○					5市	○

地域の自治体関係団体への主な委員一覧

機 関 名		役 職 名
経営	福井経済同友会	幹事
	福井商工会議所	議員
	一般社団法人福井県経営品質協議会	副会長・運営委員
福井県社会福祉協議会	福井県社会福祉協議会	評議員
	福井県小規模多機能居宅介護支援事業所連絡協議会	事務局長
	福井県認知症キャラバン・メイト協議会	委員
	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	理事
	大野市結の心つながる支え合いの地域づくり推進会議	委員
	大野市大野地区第二層協議体	委員
	大野市富田地区第二層協議体	委員
	大野市徘徊高齢者SOSネットワーク事業	委員
	勝山市介護保険運営審議会	委員
	奥越地区障害者自立支援協議会	委員
	福井市介護予防・生活支援サービス検討会議	委員
	越前市介護予防・生活支援サービス協議体	委員
	越前町生活支援事業協議体会議	委員
	越前市介護保険運営協議会	委員
	福井県長寿医療運営懇話会	委員
福祉介護	鯖江市介護予防・日常生活支援推進協議体	委員
	鯖江市在宅医療・介護連携推進協議会	委員
	鯖江市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会	委員
	敦賀市介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
労働	美浜町介護予防・日常生活支援総合事業推進協議体	委員
	小浜市介護予防・日常生活支援総合支援事業推進協議体	委員
	敦賀市介護認定審査会	委員
	敦賀市認知症支援推進協議会	委員
男女共同参画	大関まちづくり協議会	委員
	一般社団法人福井県介護福祉士会	理事
	あわら市安心生活ネットワーク連絡会	委員
	あわら市社会福祉協議会	評議員
その他	あわら市認知症地域支援推進委員	推進委員
	ケアマネSAKAI	運営委員
	公益社団法人認知症の人と家族の会	理事
	福井県介護者支援における有識者会議	委員
環境	大野市認知症カフェ連絡会	委員
	あわら市日常生活圏地域ケア会議	委員
	坂井地区広域連合地域包括支援センター運営協議会	委員
	坂井地区広域連合介護認定審査会	委員
食育・農業	ふくいの食育・地産地消推進県民会議	委員
	福井県農林水産業活動化支援研究強化会議	外部評価委員
	福井市食育推進会議	委員
	厳選・ふくいの味認証委員会	委員
ボランティア	鯖江市食育基本計画策定委員会	委員
	元気さばえ食育推進会議	委員
	福井市水産加工品開発等検討会	委員
	越前市食と農の創造審議会	委員
環境	環境ふくい推進協議会	委員長・育成支援部会長
	福井市環境推進会議	委員
	福井市くらしと環境をよくする会	企画委員・会長
	福井市廃棄物減量推進会議	委員
労働	鯖江市ごみ問題懇話会	委員
	鯖江市環境まちづくり委員会	委員
	つるが環境みらいネットワーク	委員
	大野市脱炭素推進会議	委員
男女共同参画	福井県災害ボランティアセンター連絡会	委員
	福井県ボランティアセンター運営委員会	運営委員
	福井公共職業安定所	公正採用選考人権啓発推進員
	福井県労働者福祉協議会	幹事
その他	公益財団法人福井県労働者福祉基金協会	理事・評議員
	一般社団法人福井県労働福祉会館	理事
	ふくい協同労働推進協議会	共同代表
	坂井市男女共同参画審議会	委員
男女共同参画	福井市男女共同参画ネットワーク	委員
	鯖江市男女共同参画審議会	委員
	さばえ男女共同参画ネットワーク	理事
	つるが男女共同参画ネットワーク	理事
その他	小浜男女共同参画ネットワーク	理事
	福井市社会福祉審議会 こども専門分科会	委員
	青少年健全育成敦賀市民会議	委員
	福井県協同組合連絡会	構成員
その他	福井県フードバンク連絡会	理事長・事務局長
	北陸フードバンク推進協議会	監事